

北青会

since 1961

60th

vol. 234

ONE FOR ALL
ALL FOR ONE

今期テーマ

皆さま、新年明けましておめでと
うございます。

平素より私ども一般社団法人北九州青年経営者会議の活動に格別なご支援とご厚誼を賜り心より御礼申し上げます。皆様方におかれましても、清らかな気持ちで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は新型コロナウィルスの感染拡大により、私たちの生活は一変し、「新しい生活様式」への移行を余儀なくされました。昨年4月7日には東京、神奈川、埼玉、千葉、大阪、兵庫、そして私たちの活動拠点の福岡県を含む7都道府県に緊急事態宣言が発出され、4月16日には対象を全国に拡大しました。

世界に目を転じましても、新型コロナウィルスの感染拡大は、依然として収束の兆しが見えず、欧州では各国でロックダウン(都市封鎖)が実施されるなど、グローバル化による社会経済活動への影響も甚大です。

昭和36年に結成された当会は、皆様のおかげで今期60周年を迎えることが出来ました。

我々、現役一同は60周年記念事業を遂行するにあたり準備委員会を

一般社団法人 北九州青年経営者会議



〒806-0006
北九州市八幡西区屋敷2丁目14-34
TEL(093)863-0157
FAX(093)863-0404
E-mail : mail@hokuseikai.com
URL : http://www.hokuseikai.com

会長挨拶

第60期会長
堤一
(61期)



創設し、2年間をかけて様々な取り組みを計画してまいりました。

一つに、当会が21年前より児童福祉施設や病院をはじめ、小学生未満

のお子様達のいる家庭を対象にサンタに扮したボランティアスタッフが

「夢」とプレゼントを届けるヤングサンタ事業を記念事業の一環として通常の規模を拡大し執り行う。

二つに、一昨年より開催している

ヤングサンタチャリティコンサート

をより多くお客様にご来場いただ

き、チャリティ規模を拡大する。

三つに、60周年記念式典を関係

諸団体の皆様、そしてOB・OGの皆

様と共に60年間の当会の歩みを振り返りながら盛大に開催する。

全ては今までの活動に関わってく

ださった皆様に敬意と感謝の気持ち

を込めて執り行うべく計画してまい

りましたが、コロナ禍における情勢

を鑑み、通常事業も含め変更を余儀なくされました。

しかし、全てを諦めるのではなくこの逆境だからこそ、今期のテーマである「ONE FOR ONE」の精神で会員一同、実現に向けて日々奮闘しております。これこそ当会の指針である「ONE FOR ALL」。

ALL FOR ONE」の精神で会員一同、実現に向けて日々奮闘しております。これこそ当会の指針である「ONE FOR ALL」。

シップを基調とし、青年経営者の資質向上、社会への奉仕、会員相互の親睦など、多岐にわたる活動を通して、我らが街、北九州の明るい未来を創造するものだと信じております。

60期としての時間も残すところわずかになりましたが、最後まで一致団結し、ここからまた新たな歴史を一步ずつしっかりと刻んでいく所存でございます。本年も私たち北青会の活動にご理解、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

例会運営委員会

2020年度 例会報告



例会運営委員長
垣内 要
(61期)

5月度例会



令和2年5月19日(火)
zoom Cloud Meeting
(モート上)にての月度例会を開催しました。

「口ナウイルスの影響に伴う助成金について」59期富本英将OBに講演していただきました。

緊急事態宣言があけて日々変化する助成金、支援金、給付金、融資等や個人で申請するには難しい雇用調整助成金のポイントを解りやすく説明していただきました。

6月度例会



令和2年6月16日(火)
事務局及びzoom Cloud Meeting(モート)にての月度例会を開催しました。

今期、60周年を迎えるにあたり、60周年記念実行委員会、社会貢献委員会を中心60周年記念事業のヤングサンタ、ヤングサンタチャリティーコンサート、60周年記念式典の進捗状況の説明を行い、会員の意見統一を行いました。

当団は現在の北青会の現状把握として、会員数を増やすことの運営が難しくなる等、資料を使いながら説明し、歴史の把握としてこれまでに北青会が深く関わってきた地域活性化事業、経済協力事業、自己啓発事業など先輩方が築き上げてくれた実績を知り、北青会会員であることを誇りたいと思いました。

7月度例会



令和2年7月14日(火)千草ホテル及びZoom Cloud Meetingにて月度例会を開催しました。

「北青会の未来について」～会員拡大について考える～をテーマに小田専務主導のもと、河合副委員長、財前副委員長に北青会の過去・現在・また、これからへの未来について展望を講義していただきました。

8月度例会

令和2年8月18日(火)Zoom Cloud Meetingにての月度例会を開催しました。

「口ナウイルスにおける事業の変化について」小田専務、垣内委員長、池平委員長に講演して頂きました。

口ナウイルスにより影響が大きい事業にもかかわらず、「口ナウイルス」から出来た新しい事業スタイル、販路拡大、また持続化補助金の活用例などを講演していただきました。

9月度例会



例会運営委員会副委員長
大野 達弘
(62期)



令和2年の月の日(火)Zoom Cloud Meetingにての月度例会を開催しました。

7月例会に続き「北青会の未来について」～会員拡大を考える～20としまして、河合副委員長、財前副委員長に講演していただきました。

7月例会を終えてから会員に向けたアンケートを行い、その回答から各委員会で意見をまとめたもので作成された「会員増加マニュアル」の発表がありました。

マニュアルを作ることで北青会の魅力や入会してからじついたスキルアップが出来るなど会員がわかりやすく説明出来る様になるとと思いました。

またオブザーバーへの対応マニュアルなども活用する事で目標の50人体制を築ける様に会員一同頑張っています。

11月度例会

例会運営委員会副委員長
大野 達弘
(62期)



令和2年11月8日(日)に60期持ち出し例会を行いました。

例年であれば県外で宿泊を行っていましたが、今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の為、県内へ日帰り、そして屋外での例会との判断になり、何度も検討を重ね、福津市の「シーガルイン福津」でBBQとマリンスポーツ体験での持ち出し例会の開催となりました。

当団は天候にも恵まれ、BBQでは例会運営委員会、垣内委員長が経営する「炭火焼山之内」のスペシャルセットを堪能し、マリンスポーツでは「SUP(サップ)」を体験することができました。この持ち出し例会をきっかけに会員同士の更なる結束、友情が芽生えまた新たな一面を知れる有意義な時間となりました。

ご参加いただいた皆様本当にありがとうございました。

社会貢献委員会

12月例会



社会貢献委員会
木村 佳織
(60期)

令和2年12月15日(火)千草ホテルにて、12月例会を開催しました。例年はクリスマス例会として家族をお招きし、会員と家族の親睦も兼ねて開催していましたが、今年度はコロナ禍もあり、会員だけでヤングサンタ決起集会を行いました。

例会から当口までの流れや事前準備の内容、当日の配置・訪問先・時間割などについて意思統一を行いました。実際にオンラインヤングサンタのセットを作つて、機材担当やディレクターを中心に行操作方法や見え方等を体験しました。細部について確認を行うに連れ、ヤングサンタ本番が近づいているのを感じました。

また、例会の後半には会員が少しでもクリスマスを感じ、ヤングサンタに向けて一致団結出来るように、かよつとしたイベントを行いました。司会の吉松委員長がサンタクロースに扮して登場し、会員みんなでロシア・ンショウクリームやプレゼント交換を行い盛り上がりました。最後は会員みんなでサンタクロースの格好をして写真を撮りました。今年は思い通りに活動できない状況が続いているますが、良い思い出になりました。

ご参加頂いたみなさん、ありがとうございました。

5月・10月献血



輸血に使用する血液は人工的に作り出すことが出来ず、長期保存も出来ない為、継続的な献血活動により賄うしかありません。北青会では会の主な活動の一つとして、継続して年に二回献血イベントを開催させていただいている。

血液は継続して一定量を確保する必要があり、間隔を空けて定期的に実施する」とで、少しでも血液の安定確保に貢献出来ればと考えています。この活動を通じて、一人でも多くの方に献血について知つてもらい、献血に足を運んで頂く事が出来れば幸いです。今後とも献血活動への支援の程よろしくお願ひ致します。



社会貢献委員会副委員長
前川 研二
(62期)

今年度は令和2年5月19日(火)と令和2年10月20日(火)に八幡西区イオントウンの「献血ルームくろさきクローバー」にて献血イベントを開催致しました。コロナ禍、特に5月は緊急事態宣言下にも関わらず5月は65名10月は78名の方々に御協力頂きました。この場をお借りしまして深く感謝申し上げます。

第22回
ヤングサンタ



社会貢献委員長
吉松 和幸
(61期)

去る令和2年12月20日(日)に、「第22回ヤングサンタ」を開催致しました。

「コロナ禍で頑張った子ども達を一人でも多く笑顔にする!」を合言葉に、準備を重ねて参りました。たくさんの方々にお力添えを賜り、総勢37名のボランティアのサンタクロースさんと一緒に、児童養護施設6件、病院3件、一般家庭38件にお伺いする事が出来ました。出陣式には柴田八幡西区長様やK-i-t-21の木山様にもご参加頂き、イベントを盛り上げていただきました。特に、一般家庭への訪問は「全国初!北九州発!」のZOOMを使った非接触オンラインヤングサンタ」を実施しました。北九州を中心には北海道から南は沖縄まで子ども達へ夢とプレゼントをお届けし、たくさんの笑顔に触れ合う事が出来ました。

判断の難しい状況の中、コロナ禍でも出来る事に取組もうと試行錯誤や丁々発止の議論を重ね、会員の知恵と技を結集させ、新しい事に挑戦し、今回のヤングサンタを成功させる事が出来ました。

本当に誇りに思っています。ありがとうございました。

切手でPR



皆様の日々の時間を少しお貸していただき協力をしていただければ幸いです。ご協力の方法は簡単です。切手と消印を合わせて切り取つて保管してください。



社会貢献委員会副委員長
財前 和弥
(65期)

今期は、エフエム福岡のラジオ番組「モーニングジャム」へ使用済み切手を送り社会貢献と番組内で名前を紹介されるため、当会のPR活動も行っています。

集められた切手は、国際協力NGOジョイセフを通して「レクター」に販売し、収益金は世界の子どものワクチン接種費用や母子健康に役立てられています。

総務委員会

60周年記念事業実行委員会

60周年記念事業
児童福祉施設マスク寄贈



（62期）



60周年実行委員会副委員長
中村 万生
(62期)

新型コロナウイルスの感染拡大から緊急事態宣言が発令される中、日頃から交流のある児童福祉施設の皆様に何かご支援が出来ないか会員と相談を行い、飛沫感染予防として有効となるマスクを寄贈致しました。寄贈当時、マスクの調達が大変難しい状況でしたが、会員一同で協力し、聖小崎ホーム・暁の鐘学園・若松児童ホーム・双葉学園みのり、報恩母の家の計5施設に在籍する児童・職員286名分用意することができ、無事に届けることができました。また外遊びができる状況でしたので、屋内でもの作りや美術作品づくりができるような教材もお届けしました。お届け時はマスク着用・手指消毒・屋外での受け渡しなど、今となつては当たり前の習慣となりましたが感染予防対策を行い、寄贈させていただきました。子ども達との直接の交流は出来ませんでしたが、「コロナ禍でも会として引き続き支援を続けて参りたい」と思います。新型コロナウイルスとの戦いはまだ続いておりますが、60周年事業を無事実行できるよう今後も準備して参ります。

災害ボランティアセンター
設置・運営訓練

私は、昨年11月に行われた災害ボランティアセンター設置・運営訓練に参
加してまいりました。近年水害による被災が増えていますが、自然災害が起きた
と被災者支援が必要となります。さらに、新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために私たちの生活様式が
変化しているように、ボランティアセンターの運営の仕方も変わっています。昨年7月の豪雨災害支援を行
われた人の話では「コロナ禍で想定外のトラブルや事故
が起きることもあったといいます。被災者のニーズに応えながら支援に行く者のストレス、負担を軽減するためにコードインテー
ト力を高めることが大事だと感じました。
研修では災害ボランティアセンターの設置・運営、広報活動について学びました。
ボランティアセンターの設置・運営に携わる機会はあまりありませんが災害支援を行った際の参加方法、心構えを学ぶことができました。これからは災害も増えていく可能性が高いのでボランティアに参加させて頂ける際は学んだことを生かしていくことです。



例会運営委員会
森 大祐
(66期)

私は、昨年11月に行われた災害ボランティアセンター設置・運営訓練に参
加してまいりました。近年水害による被災が増えていますが、自然災害が起きた
と被災者支援が必要となります。さらに、新型コロナウイルスの集団感染を防ぐために私たちの生活様式が
変化しているように、ボランティアセンターの運営の仕方も変わっています。昨年7月の豪雨災害支援を行
われた人の話では「コロナ禍で想定外のトラブルや事故
が起きることもあったといいます。被災者のニーズに応えながら支援に行く者のストレス、負担を軽減するためにコードインテー
ト力を高めすることが大事だと感じました。
研修では災害ボランティアセンターの設置・運営、広報活動について学びました。
ボランティアセンターの設置・運営に携わる機会はあまりありませんが災害支援を行った際の参加方法、心構えを学ぶことができました。これからは災害も増えていく可能性が高いのでボランティアに参加させて頂ける際は学んだことを生かしていくことです。

4月度総会



総務委員会副委員長
河合 祐一
(64期)

令和2年4月7日(火)、に60期4月度総会を開催いたしました。

今年度の総会は1月から危惧されていました。新型コロナウイルスの影響を受け、会としては初めてのオンラインを使用した形での例会の開催となりました。慣れない様式での進行でスマートinezにできないことも多々あり今後の課題もありましたが、無事に総会を終了することができました。

総会では令和元年度事業報告並びに収支決算報告、監査報告、令和2年度事業計画案予算案についての審議を行いました。日頃の生活事業に関しても新しい様式を取り込む状況の中、北青会としても新しい形を取り入れて今後の活動に臨まなければならぬ状況を改めて感じる総会となりました。

10月度総会

令和2年10月13日(火)千草ホテルにて60期10月度総会が開催されました。次期理事の推薦があり61期理事が左記のように決定いたしました。

次期会長	田代 秀穂
次期直前会長	堤 一
次期副会長	小田 泰三
次期専務理事	村山 之崇
次期常務理事	河合 祐一
次期監事	永野 謙一
次期監事	清水 寛夫

第2号議案の承認により左記の通り次期監事が選出されました。

理事及び監事の選任も無事に終了し、本総会は閉会いたしました。



令和2年10月13日(火)千草ホテルにて60期10月度総会が開催されました。次期理事の推薦があり61期理事が左記のように決定いたしました。

次期会長 田代 秀穂 次期直前会長 堤 一 次期副会長 小田 泰三 次期専務理事 村山 之崇 次期常務理事 河合 祐一 次期監事 永野 謙一 次期監事 清水 寛夫



facebook
お仕事紹介リレー



福岡市に新型コロナウイルス
対策車両寄贈(北九州市も寄贈予定)



総務委員会
池平 陽兵
(62期)

1月から感染拡大を危惧されていた新型コロナウイルスの影響を受け徐々に感染者が増え始め、4月にはとうとう緊急事態宣言が発令されました。これまでに体験したことのない状況に日本中が陥り、北青会活動はもうろんのことではありますが、会員の社業にも多大な影響が出る事態となってしまいました。

今回の新型コロナウイルスの影響を受け何かできることはないかと考えさせやかではありますか以前から会活動の一つとして行っていましたfacebookを利用した「お仕事紹介リレー」の趣向を変え会員及びOB会員の「お仕事紹介特別編」を企画させていただきました。

1月から感染拡大を危惧されていた新型コロナウイルスの影響を受け徐々に感染者が増え始め、4月にはとうとう緊急事態宣言が発令され

ゴルフ会



ゴルフ会幹事
大野 達弘
(62期)

60期ゴルフ会幹事を務めさせていただいております、62期大野です。今年度は新たに50期前田OBがゴル

フ会会長に就任され盛り上がりを見せたいところでしたが新型コロナウィルスの流行もあり4月からの開催を自粛とし8月からの計4回の開催となりました。特に10月の親睦ゴルフ会では多くのOB・現役の方にご参加頂き誠に感謝いたします。まだまだ新型コロナウィルスの影響がいつまで続くか本当に心配ではありますが、ゴルフは屋外でソーシャルディスタンスを保ちながら行えるスポーツなので是非皆様の参加をお待ちしております。一年間ありがとうございました。

北崎会員 新入会員挨拶



北崎 崇範
(62期)

この度入会させて頂きました北崎崇範と申します。
(株)不動産のデパートひろたで営業として北九州を拠点

せて頂いております。会員の皆様からご教授頂いた事を会社で生かす事、会社で培ってきたことを北青会の活動に生かす事で北九州の発展に貢献したいと思います。北九州は人口の減少や空き店舗の増加等深刻な問題を抱えておりますが、私の仕事に直結する問題でもありますので何事にも挑戦し、人脈を広げ北九州、北青会の発展の一翼を担いたいと思います。今後もご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。

編集後記

明けましておめでとうございます。本年はどうぞよろしくお願ひいたします。60期も残すところ2ヶ月余りとなりました。新型コロナウィルスの影響もあり動きづらい状況ではありますが、今期の活動テーマである「ONE FOR ALL ALL FOR ONE」の精神で会員同士で協力し合い北青会活動に取り組みたいと思いますのでどうぞよろしくお願ひいたします。

総務委員会一同

入会のご案内

40歳までの若手経営者
自薦他薦を問いません。
**今どきの
「リーダー」求む!!**
PIONEER SHIP LEADER SHIP